



年頭のごあいさつ

「乗り越えた先、輝かしい未来へ！」

加古川商工会議所
会頭 釜谷 和明

令和4年の新春を迎え、皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中は、商工会議所の運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって早や2年が経とうとしています。この間にウイズコロナの新しい生活様式が広まったと言われますが、感染が収まっている時期でも個人消費はコロナ前の状態には戻っていないなど、依然として深刻な状況が続いている業種もあります。企業は、度重なる緊急事態宣言発出で経済活動停滞の影響を受けただけでなく、ニューノーマル時代への対応、脱炭素経営への取組み、SDGs（持続可能な開発目標）達成、DX（デジタル変革）推進、さらに原油高や木材・鋼材高、半導体不足など様々な経営課題を同時に抱えた非常に厳しい局面を迎えており、政府による大規模な景気浮揚策や支援策等が切望されています。

当地域においては、重要課題である人口減少対策として、住民の幸福感や生活満足度の向上を図る行政施策を中心に進められています。ハード面でも、国内有数の生産高を誇る播磨地域にふさわしい道路網の整備として、東播磨道の北工区、国道2号線の中心市街地における4車線整備および加古川橋の架替、相生橋改良工事、加古川バイパス北側の新架橋、播磨臨海地域道路といった都市の基盤インフラ整備事業も着実に進めることが重要です。併せて産業用地の確保や規制緩和等により地域の魅力を高め、新たな企業の誘致や既存企業の転出防止に繋げられるよう、引き続き積極的に支援、要望を行って参ります。

本年は、当所創立70周年を迎えます。おかげさまで会員数は約10年ぶりに2800事業所に回復しましたが、コロナ禍で経営に苦慮されている事業者の皆様からの相談が急増しており、支援機関としての商工会議所への期待が高まっていることを実感しています。

ニーズに合った各種施策の実施や相談支援事業を推進するとともに、関係機関とも連携を図り、各種公的支援策の活用や情報提供、中小企業のポストコロナ時代に向けた経営環境の整備・改善、経営革新、資金調達や人材確保などあらゆるご相談に応じ、会員の皆様に寄り添う伴走型の支援を行う「無くてはならない窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行いたいと考えております。

寅年の本年は、会員の皆様にとりまして、これまでの忍耐と努力の成果が現れ、輝かしい未来への飛躍につながる「成長し、伸びる」年となることを願います。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸、本年が皆様にとってよい年でありますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。